

■ 中日新聞 2018/3/9

<http://www.chunichi.co.jp/s/article/2018030901001998.html>

三重で10月に初の日本酒品評会 有カワイン団体が発表

ツイート 0 シェア 0 G+

2018年3月9日 18時46分

世界的に知られるワイン品評会「ブリュッセル国際コンクール（CMB）」は9日、津市で記者会見し、日本酒部門の創設を発表した。初の品評会は10月、全国の酒造から参加を募って三重県鳥羽市で開催する。審査委員長を務めるフランス人の日本酒啓蒙家、シルバン・ユエさんは「外国人の口に合う酒を選ぶ」と話しており、世界に日本酒の魅力を発信するチャンスになりそうだ。

CMBは、世界50カ国以上から出品するワインの品評会などを主催。日本酒部門は百五総合研究所（津市）が運営事務局となり、今年から毎年国内で開く見通し。海外の団体が日本で毎回開催するのは初めてという。

（共同）



日本酒部門の創設を発表し、手を合わせる「ブリュッセル国際コンクール」のカリン・メリオさん（中央）ら=9日、津市

■ 産経新聞 2018/3/10

<http://www.sankei.com/region/news/180310/rgn1803100025-n1.html>

日本酒の魅力や食文化を世界へ 鳥羽で10月「サケ・セレクション」

ツイート 反応 シェア 3 G+ おすすめ記事を繋げる



世界最大級のワイン品評会を主催する「ブリュッセル国際コンクール（CMB）」は9日、日本で初となる国際的な日本酒コンテスト「SAKE selection（サケ・セレクション）」を10月に鳥羽市で開催すると正式に発表した。県などが後援する予定で、この日、津市での発表会に同席した鈴木英敬知事は「日本酒の魅力を伝えるとともに、三重の酒や食文化も世界中にアピールし

たい」と話した。

CMBはワインやスピリッツ、ビールなど6種類の酒のコンクールを開催している。サケ・セレクションの運営事務局は、百五総合研究所が務める。10月10日に津市内でパーティーなどを開き、同11～13日に鳥羽市のタラサ志摩でコンクールを開催。世界的なソムリエ35人を招き、吟醸酒やスパークリングなど7部門で審査する。

審査員の4分の3は日本人以外で、コンクール終了後は各国で日本酒のPRを担う。CMBも、世界的な見本市などで受賞酒のPRをするとともにSNS（交流サイト）などで情報発信する。CMBは「過去の統計から受賞メダルによるプロモーションは売り上げに大きく影響を与えている」としている。

5月から出品のエントリーを受け付ける。フランス人審査委員長のシルヴァン・ユエさんは「欧州では和食とともに日本酒ファンも増えている。コンテストを通して、おいしい日本酒をヨーロッパ人に紹介したい」と話していた。

■毎日新聞 2018/3/10

<https://mainichi.jp/articles/20180310/ddq/041/040/015000c>

世界的に知られるワイン品評会「ブリュッセル国際コンクール（CMB）」は9日…

毎日新聞 2018年3月10日 中部朝刊

ライフ > 食 > いりやあせ名古屋 >

[PR]

広告は Google により終了しました

この広告の表示を停止

広告表示設定 ①

世界的に知られるワイン品評会「ブリュッセル国際コンクール（CMB）」は9日、日本酒部門の創設を発表した。初の品評会は10月11～13日、三重県鳥羽市で開催する。世界に日本酒の魅力を発信する。

伊勢志摩サミットや伊勢神宮の伝統と歴史が評価され、三重県開催が決まった。百五総合研究所（津市）が運営事務局となり、毎年国内で開く見通し。海外の団体が日本で毎回

開催するのは初めてという。

純米酒や吟醸酒などをソムリエら35人が審査する。受賞した酒はCMBが海外でプロモーション活動する。後援する県は「ポストサミット事業」とする考え。

■朝日新聞 2018/3/12

<https://www.asahi.com/articles/ASL3934XRL39ONFB008.html>

三重）国際ワインコン日本酒部門、10月に鳥羽で初開催

広部憲太郎 2018年3月12日03時00分

シェア ツイート ブックマーク メール 印刷



会見にはコンクール主催者のカリン・メリオ氏（写真中央）、審査委員長のシルヴァン・ユエ氏（左から2人目）、鈴木英敏知事（右から3人目）らが出席した＝津市羽所町



ワインの国際的な審査会「ブリュッセル国際コンクール」が、日本酒部門のコンクール「SAKE selection」を鳥羽市で10月に初開催することになった。百五総合研究所（津市）が昨年伊勢志摩サミットのポスト事業として企画し、県や外務省なども後援に加わった。全国の酒蔵に参加を呼びかけ、外国での販路拡大につなげる狙いがある。

同コンクールは25年の歴史があり、毎年55カ国から約1万本が出品されている。本部はベルギーのブリュッセルにあるが、開催地は世界各地を回り、去年はスペインで開かれた。ワインだけでなくビールやスピリッツの審査部門もある。

伊勢志摩サミットでは鈴鹿、伊賀、名張市など県内の酒蔵の銘柄が乾杯酒や食中酒に使われ、海外の注目を浴びた。盛り上がりをつなげようと、百五総研が主催者側

7周年記念キャンペーン!!
厳選特価
Core™ i7
SSD×HDD
mouse MousePro
台数限定

■ 共同通信 2018/3/9

https://news.biglobe.ne.jp/domestic/0309/kyo_180309_4437128219.html



日本酒部門の創設を発表し、手を合わせる「ブリュッセル国際コンクール」のカリン・メリオさん（中央）ら=9日、津市

世界的に知られるワイン品評会「ブリュッセル国際コンクール（CMB）」は9日、津市で記者会見し、日本酒部門の創設を発表した。初の品評会は10月、全国の酒造から参加を募って三重県鳥羽市で開催する。審査委員長を務めるフランス人の日本酒啓蒙家、シルバン・ユエさんは「外国人の口に合う酒を選ぶ」と話しており、世界に日本酒の魅力を発信するチャンスになりそうだ。

CMBは、世界50カ国以上から出品するワインの品評会などを主催。日本酒部門は百五総合研究所（津市）が運営事務局となり、今年から毎年国内で開く見通し。海外の団体が日本で毎回開催するのは初めてという。

■ 岩手日報 2018/3/9

<https://www.iwate-np.co.jp/article/kyodo/2018/3/9/9285>

三重で10月に初の日本酒品評会 有力ワイン団体が発表

[シェア](#) [ツイート](#) [LINEで送る](#)



日本酒部門の創設を発表し、手を合わせる「ブリュッセル国際コンクール」のカリン・メリオさん（中央）ら=9日、津市

2018/03/09

世界的に知られるワイン品評会「ブリュッセル国際コンクール（CMB）」は9日、津市で記者会見し、日本酒部門の創設を発表した。初の品評会は10月、全国の酒造から参加を募って三重県鳥羽市で開催する。審査委員長を務めるフランス人の日本酒啓蒙家、シルバン・ユエさんは「外国人の口に合う酒を選ぶ」と話しており、世界に日本酒の魅力を発信するチャンス

になりそうだ。

CMBは、世界50カ国以上から出品するワインの品評会などを主催。日本酒部門は百五総合研究所（津市）が運営事務局となり、今年から毎年国内で開く見通し。海外の団体が日本で毎回開催するのは初めてという。

■西日本新聞 2018/3/9

<https://www.nishinippon.co.jp/nnp/lifestyle/article/400048/>

三重で10月に初の日本酒品評会 有カワイン団体が発表

2018年03月09日17時54分 (更新 03月09日 18時51分)



日本酒部門の創設を発表し、手を合わせる「ブリュッセル国際コンクール」のカリン・メリオさん（中央）ら=9日、津市

[写真を見る](#)

世界的に知られるワイン品評会「ブリュッセル国際コンクール（CMB）」は9日、津市で記者会見し、日本酒部門の創設を発表した。初の品評会は10月、全国の酒造から参加を募って三重県鳥羽市で開催する。審査委員長を務めるフランス人の日本酒啓蒙家、シルバン・ユエさんは「外国人の口に合う酒を選ぶ」と話しており、世界に日本酒の魅力を発信するチャンスになりそうだ。

CMBは、世界50カ国以上から出品するワインの品評会などを主催。日本酒部門は百五総合研究所（津市）が運営事務局となり、今年から毎年国内で開く見通し。海外の団体が日本で毎回開催するのは初めてという。

FUJIFILM



■佐賀新聞 2018/3/9

<http://www.saga-s.co.jp/articles/-/190844>

三重で10月に初の日本酒品評会

有カワイン団体が発表

3/9 17:52



日本酒部門の創設を発表し、手を合わせる「ブリュッセル国際コンクール」のカリン・メリオさん（中央）ら=9日、津市

[拡大する](#)

世界的に知られるワイン品評会「ブリュッセル国際コンクール（CMB）」は9日、津市で記者会見し、日本酒部門の創設を発表した。初の品評会は10月、全国の酒造から参加を募って三重県鳥羽市で開催する。審査委員長を務めるフランス人の日本酒啓蒙家、シルバン・ユエさんは「外国人の口に合う酒を選ぶ」と話しており、世界に日本酒の魅力を発信するチャンスになりそうだ。

CMBは、世界50カ国以上から出品するワインの品評会などを主催。日本酒部門は百五総合研究所（津市）が運営事務局となり、今年から毎年国内で開く見通し。海外の団体が日本で毎回開催するのは初めてという。

[>> もっとくわしく読む](#)

応募必須条件は
ありません。



面白法人
カマック

絶賛採用中です。転職ならGreen。